

令和4年度 クリンピー応援隊に係るアンケート 集計結果

<調査の対象>

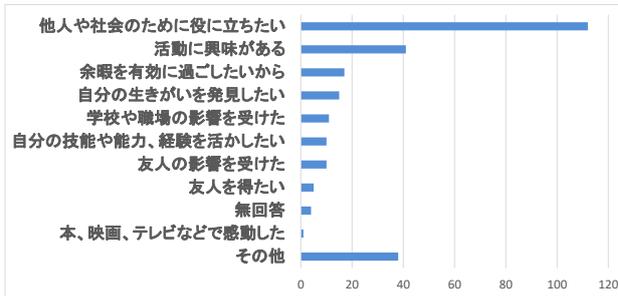
- ・調査の対象: クリンピー応援隊に登録している団体
- ・調査の方法: 令和4年12月にアンケート用紙を団体あてに送付し、返却された回答を集計。

・アンケート回収率:

回答数	146	配布数	247	回収率	59%
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問1 クリンピー応援隊の活動を始めた動機(複数回答可)

	回答数	割合
他人や社会のために役に立ちたい	112	49.6%
活動に興味がある	41	18.1%
余暇を有効に過ごしたいから	17	7.5%
自分の生きがいを発見したい	15	6.6%
学校や職場の影響を受けた	11	4.9%
自分の技能や能力、経験を活かしたい	10	4.4%
友人の影響を受けた	10	4.4%
友人を得たい	5	2.2%
無回答	4	1.8%
本、映画、テレビなどで感動した	1	0.4%
その他	38	16.8%
合計	226	100.0%



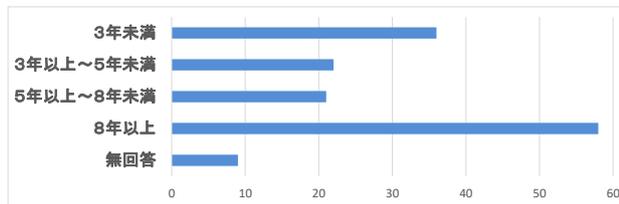
※ その他の主な意見

- ・環境美化意識の高揚を図りたいから。
- ・いわきの子供たちに素直な未来を残しておきたいから。
- ・職場周辺をきれいに維持し、周辺住民に安心して散歩してほしいから。
- ・通勤や散歩をしているときにポイ捨てごみが多いと感じたから。
- ・自分たちが使用している公園が汚れていたから。
- ・通りすがりの方が活動をしているのを見て触発されたから。
- ・野生動物たちの住む環境を良くしたいから。

・回答として一番多かったのが「他人や社会のために役に立ちたい」の49%であり、約半数の団体が地域に貢献したいという考えを持っていることがうかがえる。

問2 クリンピー応援隊の活動期間 (単位: 団体)

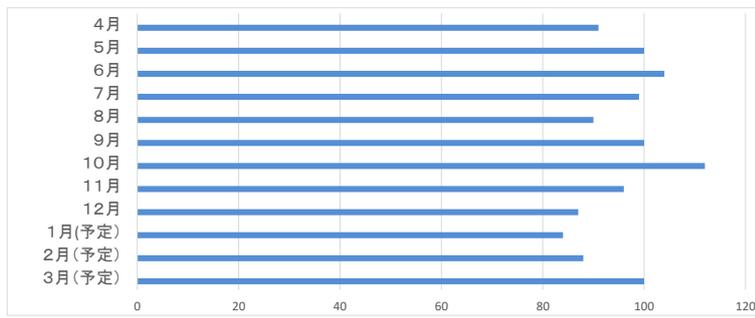
	回答数	割合
3年未満	36	24.7%
3年以上～5年未満	22	15.1%
5年以上～8年未満	21	14.4%
8年以上	58	39.7%
無回答	9	6.2%
合計	146	100.0%



・「8年以上」の回答が最も多く、約4割の団体が長年クリンピー応援隊として美化活動に参加していることがうかがえる。
・その次に多いのが「3年未満」で新規で美化活動に参加している団体も多いことがうかがえる。

問3 今年度(令和4年度)の活動頻度について(単位: 団体)

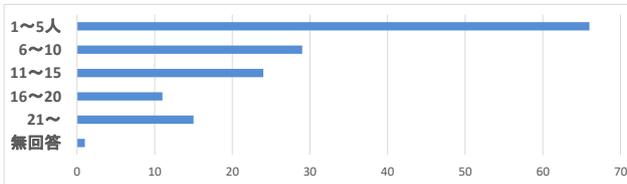
	回答数	割合
4月	91	7.9%
5月	100	8.7%
6月	104	9.0%
7月	99	8.6%
8月	90	7.8%
9月	100	8.7%
10月	112	9.7%
11月	96	8.3%
12月	87	7.6%
1月(予定)	84	7.3%
2月(予定)	88	7.6%
3月(予定)	100	8.7%
合計	1151	100.0%



・どの月もだいたい同じ割合で美化活動を行っていることがうかがえる。
・回答数が100を超えた月があることから、積極的に美化活動を行っていることがうかがえる。

問4 1回の活動に参加する人数は何人程度か(単位: 団体)

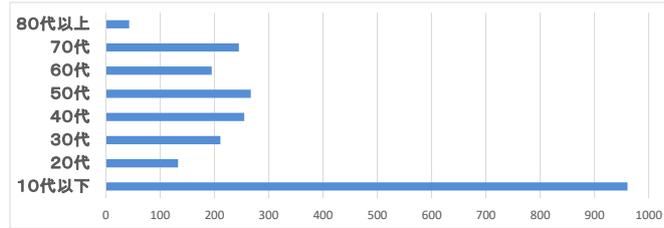
	回答数	割合
1～5人	66	45.2%
6～10	29	19.9%
11～15	24	16.4%
16～20	11	7.5%
21～	15	10.3%
無回答	1	0.7%
合計	146	100.0%



・1人から5人程度で活動する団体が約半数を占めていることが分かる。
・次いで多いのが6人から10人で活動している団体で、1人から10人の規模で活動している団体が全体の65%を占めている。

問5 問4の1回の活動に参加する人数の年代について（単位：人）

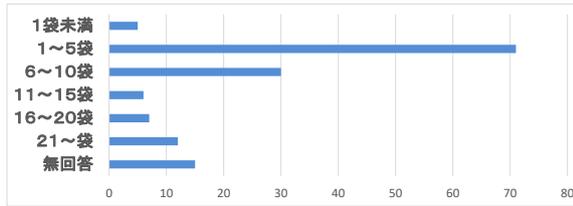
	回答数	割合
10代以下	961	41.6%
20代	133	5.8%
30代	211	9.1%
40代	255	11.0%
50代	267	11.6%
60代	195	8.4%
70代	245	10.6%
80代以上	43	1.9%
合計	2310	100.0%



- ・小学校でクリーンビー応援隊に登録しているため、10代以下の人数が多くなっていることがうかがえる。
- ・40、50、70代はクリーンビー応援隊に登録している人数が多いことがうかがえる。
- ・しかし、20、30、60代の参加人数が少ないため、この年代の参加人数を増やしていくことが課題である。

問6 1回の活動でどれくらいごみを拾うかについて（単位：団体）

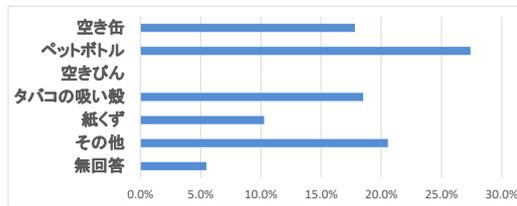
	回答数	割合
1袋未満	5	3.4%
1～5袋	71	48.6%
6～10袋	30	20.5%
11～15袋	6	4.1%
16～20袋	7	4.8%
21～袋	12	8.2%
無回答	15	10.3%
合計	146	100.0%



- ・一回の活動で拾うごみの量はごみ袋「1～5」袋分と答えた団体が約半数を占めていることがうかがえる。
- ・次いで多い回答がごみ袋「6～10」袋分のごみを拾うと答えた団体であることがうかがえる。

問7 拾うごみのうち、どんなごみが多いか（下記の『無回答』以外の中から3つを順位をつけて回答）

	回答数	割合
空き缶	26	17.8%
ペットボトル	40	27.4%
空きびん	0	0.0%
タバコの吸い殻	27	18.5%
紙くず	15	10.3%
その他	30	20.5%
無回答	8	5.5%
合計	146	100.0%

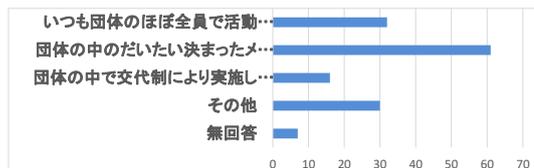


- ※ その他の主な回答
- ・レジャーやバーベキューのごみ
 - ・コンビニのレジ袋や弁当の容器
 - ・お菓子の袋やペットボトルのラベル
 - ・落ち葉や枝木

- ・活動している際に一番多く落ちていたごみは「ペットボトル」、次いで「空き缶」が多いことがうかがえる。
- ・その他の回答の中で、多く見られた回答がコンビニのレジ袋や弁当の容器であった。

問8 活動の参加者について（単位：団体）

	回答数	割合
いつも団体のほぼ全員で活動している。	32	21.9%
団体の中のだいたい決まったメンバーで実施している。	61	41.8%
団体の中で交代制により実施している。	16	11.0%
その他	30	20.5%
無回答	7	4.8%
合計	146	100.0%

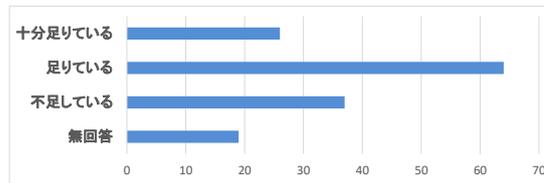


- ※ その他の回答
- ・近所の人や友人にも手伝ってもらっている。
 - ・個人で美化活動を行っている。
 - ・活動を行う際には、回覧板で参加メンバーを募る。
 - ・各自、時間があるときに活動を行う。
 - ・親子や夫婦で活動を行っている。
 - ・活動前に事前に声かけを行い、集まった人たちで活動を行っている。

- ・回答として最も多かったものが「団体の中のだいたい決まったメンバーで実施している」、次いで多かったのが「いつも団体のほぼ全員で活動している」であることがうかがえる。

問9 活動の参加人員について(単位:団体)

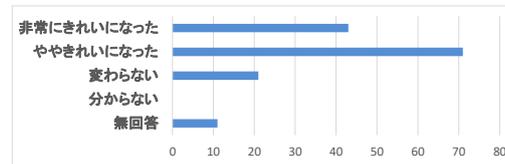
	回答数	割合
十分足りている	26	17.8%
足りている	64	43.8%
不足している	37	25.3%
無回答	19	13.0%
合計	146	100.0%



・活動の参加人員については「足りている」と答えた団体が最も多かった。しかし、次いで多い回答が「不足している」の回答で人員の確保が課題となっている。

問9 (1) 活動した場所は活動前に比べてきれいになったかについて(単位:団体)

	回答数	割合
非常にきれいになった	43	29.5%
ややきれいになった	71	48.6%
変わらない	21	14.4%
分からない	0	0.0%
無回答	11	7.5%
合計	146	100.0%

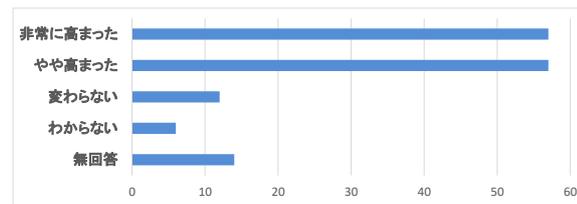


・最も回答が多かったのが「ややきれいになった」であることがうかがえる。
・次に多かった回答が「非常にきれいになった」であり、美化活動の効果があつたことがうかがえる。

問9 (2) 活動による意識効果について

① メンバーの「環境美化」への関心は高まったか(単位:団体)

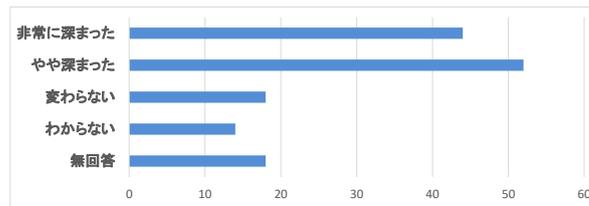
	回答数	割合
非常に高まった	57	39.0%
やや高まった	57	39.0%
変わらない	12	8.2%
わからない	6	4.1%
無回答	14	9.6%
合計	146	100.0%



・クリンビー応援隊によって「環境美化」への関心が「非常に高まった」「やや高まった」と答えた団体が同数おり、全体の約7割強を占めていることがうかがえる。

② メンバーの連帯感は深まったか(単位:団体)

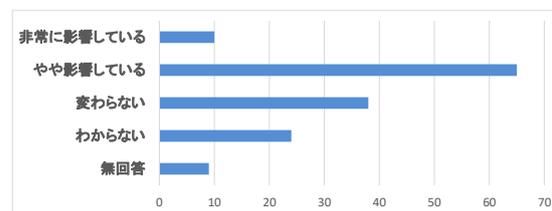
	回答数	割合
非常に深まった	44	30.1%
やや深まった	52	35.6%
変わらない	18	12.3%
わからない	14	9.6%
無回答	18	12.3%
合計	146	100.0%



・メンバーの連帯感が「非常に深まった」「やや深まった」と答えた団体が合計で全体の約6割を占めていることからクリンビー応援隊によってメンバーの連帯感が深まった団体が半数を超えることがうかがえる。

③ 活動エリアの一般住民の意識に影響しているかについて(単位:団体)

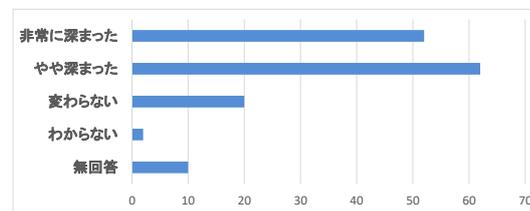
	回答数	割合
非常に影響している	10	6.8%
やや影響している	65	44.5%
変わらない	38	26.0%
わからない	24	16.4%
無回答	9	6.2%
合計	146	100.0%



・活動エリアの一般住民の意識に「やや影響している」と答えた団体が一番多かったことがうかがえる。
・活動エリアの一般住民の意識に影響しているのが「変わらない」や「わからない」と答えた団体もやや多く見受けられることからクリンビー応援隊が活動エリアの一般住民の意識に影響しているかが不透明に感じる団体もあることがうかがえる。

④ 活動場所や地域への愛着は深まったかについて(単位:団体)

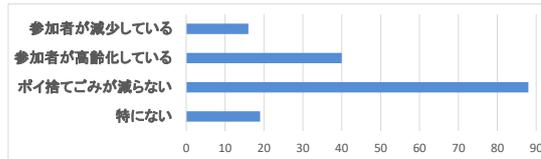
	回答数	割合
非常に深まった	52	35.6%
やや深まった	62	42.5%
変わらない	20	13.7%
わからない	2	1.4%
無回答	10	6.8%
合計	146	100.0%



・クリンピー応援隊の活動によって活動場所や地域に愛着が「非常に深まった」「やや深まった」と答えた団体が約7割を占めた。このことからこの美化活動によって活動場所や地域に愛着を持った団体が多く存在することがうかがえる。

問10 活動を続けていくにあたってどのような問題を感じているかについて（複数回答可）

	回答数
参加者が減少している	16
参加者が高齢化している	40
ポイ捨てごみが減らない	88
特になし	19
その他	18
合計	181



※ その他の回答

- ・参加者の高齢化やメンバーの減少に伴い、活動回数が減少していること
- ・活動のよびかけや周知の方法が難しい
- ・ごみを捨てないようにするための注意喚起の看板が少ないように感じる
- ・学校や学年の考えや計画によって活動回数が左右されること
- ・地域の人たちの参加が少ないこと
- ・割れた瓶の破片が多く、収集が大変である
- ・不法投棄をする人がいること
- ・多忙で手が回らないこと
- ・参加意識が低いこと

・一番多かった回答が「ポイ捨てごみが減らない」であり、美化活動を行ってもなかなかポイ捨てごみが減らないことがうかがえる。これに加えて、メンバーの高齢化を抱えている団体も多いことがうかがえる。

問11 問10で回答した課題が生じる要因及び解決策について（自由記入）

※ 主な意見

◎ ポイ捨てごみが減らないことに関すること

- ・海岸ごみが環境に影響が生じるという環境意識の向上につながる活動をしていきたい。
- ・ポイ捨てごみを行う人の意識を変えていかなければならないと思う。
- ・公園内の除草やポイ捨て禁止に関する立て札を立てる。
- ・合同で清掃活動を行う仕組み作りが必要である。
- ・海岸のごみ拾いをしている人が少ないため、海岸はポイ捨てをしやすいところである。
- ・学校の帰り道にコンビニのごみを通学路に捨てているため。
- ・草木が伸びているところにはポイ捨てごみが多い。市や県で道路や歩道沿いの草刈りを行ってほしい。
- ・ポイ捨ての厳罰化や罰金化しなければポイ捨てに関する意識は変わらないと思う。
- ・テイクアウトした飲食物を公園に持ち込み、そのまま放置しているため。
- ・歩きタバコ（喫煙者）が減らなければ、たばこのポイ捨てごみは減らない。
- ・動物にエサをあげるために人が集まり、その人たちがごみを放置している。
- ・観光客らしき人たちがポイ捨てをしている。
- ・参加人数を増やし、不法投棄をしていないかパトロールを行う。
- ・ポイ捨てごみに関するポスターを作成し、コンビニやスーパーにて展示する。

◎ 参加者の高齢化・減少に関すること

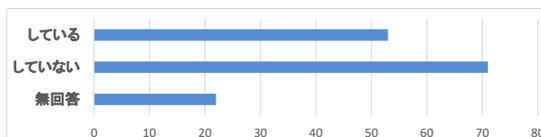
- ・清掃活動を行っている人たちの紹介や情報交換の機会を作り、モチベーションを保つ必要がある。
- ・メンバーが高齢化し、参加者が減少する一方で、若いメンバーが入ってこない。
- ・メンバーが大人になるため、小中学生にも参加してほしい。
- ・参加者を増やすために、どこで、誰が、いつ活動しているのかわかるサイトや掲示板が欲しい。
- ・若い世代の積極的な参加を促すためにSNSなどを利用した情報の発信が必要
- ・若者の積極的な参加をしてほしい

◎ 活動回数の減少に関すること

- ・会社の組織変更によって拠点が他市に移動した。それに伴い、活動場所が遠距離になったため活動回数が減少してしまっている。

問12 活動への参加者を増やすための工夫について

	回答数	割合
している	53	36.3%
していない	71	48.6%
無回答	22	15.1%
合計	146	100.0%



・クリンピー応援隊の参加者を増やすための工夫をしていない団体が約半数となっていることがうかがえる。一方で、約3割の団体で参加者を増やすための工夫をしていることもうかがうことができる。

問13 問12で「している」と答えた団体に、具体的にどのような工夫をされているかについて（自由記入）

◎ 主な回答

- ・活動時には別団体と合同で美化活動を行っている。
- ・活動時にはSNSや報道投込み、声かけを行う。
- ・活動場所を河川や海岸に限定せず、街中でも清掃活動を行う。
- ・予定を立てやすいように、メンバーになるべく早く実施日を伝える。
- ・清掃活動を動画配信サイトやSNS、ホームページ等で発信している。
- ・回覧板で活動日の周知を行っている。
- ・わかりやすいように、毎月1日に同じ時間と同じ場所で清掃活動を行っている。
- ・ごみ出しの当番を1週間ごとに決め、順番で当番を決めている。
- ・会社の朝礼と終礼で清掃活動の実施の周知を行っている。
- ・家族全員での参加のお願いや知人への呼びかけなどで清掃活動への参加をお願いしている。
- ・市内の大学に活動への参加をお願いした。
- ・チラシの作成・配布を行っている。
- ・活動に初めて参加される方と積極的にコミュニケーションをとるようにしている。
- ・公報で活動の呼び方を行っている。
- ・地域の高齢者に参加をお願いしている。
- ・PTA役員を中心に参加を呼び掛けている。
- ・活動を行う際のあいさつで、活動に興味を持った方にはクリーンピー応援隊のパンフレットを渡している。
- ・学校の行事の一環として活動を行っている。
- ・若い世代の会員を増やすために学生会員の会費を無料とした。

・参加者を増やすための工夫としてSNSや回覧板での周知、声掛けやメールでの参加の呼びかけを行っている団体がかなりの数になることがうかがえる。
また、活動時には別団体と合同で清掃活動を行っている団体も多いことがうかがえた。

問14 クリーンピー応援隊制度の問題点や応援隊が活動を継続していくうえで負担に感じていることに関する質問について(自由記入)

◎ 主な回答

◎ 高齢化や人手不足に関すること

- ・いわき市所有の土地(森林)からの落ち葉や枯れ枝が、集めたごみのほとんどを占める。
- ・若い人材、パワーがほしい。
- ・高齢化が問題。美化活動は地域課題なので、住民主体で取り組む必要がある。
- ・コロナ禍により、参集する所には入りたくないという人が多くなってきた。また人手不足により、仕事作業に従事しなければならず、なかなか参加してもらえない。現段階では致し方ない状況であり、少人数で少しづつごみ拾いを行うしかない。
- ・高齢者が多くなっているので、今後、参加者の減少が心配。
- ・今後、高齢化により対象範囲や実施回数の維持が難しくなると思う。

◎ 活動の実施や報告に関すること

- ・活動場所をその都度登録することが大変。
- ・地域の方と合同で行うため、場所や日程の調整が必要。
- ・活動の報告をアプリでできるようにしてほしい。不足している清掃用具の配送を行ってほしい。

◎ クリーンピー応援隊の認知度や宣伝に関すること

- ・区長会、保健衛生委員会への呼びかけをもっと行ってほしい。
- ・応援隊、全体の活動のチラシ配布、設置をして、他の方が手に取って見られるようにしてほしい。
- ・クリーンピー応援隊制度自体、市全体への宣伝不足。小中高等学校側にも協力を推進すべき
- ・団体でも個人でも、活動の輪が広がればいいと思う。特に企業で、この活動を知らない所が多いのでは？
- ・クリーンピー応援隊が市で応援されている活動、という認識が行き渡っていないのでは？
- ・市からも発信(報道、パンフレットなど)してほしい。

◎ ごみに関すること

- ・車からゴミを捨てていくので、歩道がほぼないような場所や、拾いにくい場所にゴミがたくさんある。
- ・車と接触しないように気を付けながら拾っているが、危ないなど感じることもある。
- ・毎週月・木曜の可燃の日に、各集積所を2人で見て回るが、毎回カラスにいたずらされている。散乱ごみの片付けが大変な労力。
- ・コンビニのゴミが多いので、お店でチラシを渡したり、帰りがけや翌日に回収する大きなゴミ箱を設置するよう、市から勧告してほしい。
- ・捨てる人が多すぎて、拾っても拾ってもどうしようもない状態。
- ・道路沿いの休耕田畑のごみを拾いたいと思うが、他人の敷地ゆえ、拾うことが出来ない。
- ・ゴミがあると便乗して捨てていく人がいるので、注意喚起ができればいいのだが。
- ・不法ごみの中に、教育上好ましくないものがあり、子供たちに見せたくない。

◎ 清掃用具や清掃用具の補充に関すること

- ・草刈りの活動場所は、小学校へ向かう道路脇が主であるが、早日に除草剤等もらえると有難い。
- ・保健委員会のポイント制で除草剤と取り換えても2本ぐらいしか貰えない。どうにかしたい。
- ・雑草が多いので、草刈りの刃やガソリンなども支給されると助かる。
- ・熊手の小さいのが欲しい。
- ・ごみ集積所に置くと、動物があさることがある。せつかく集めても荒らされると住民からクレームが来るので、応援隊の支援でごみネットも配布して欲しい。